

リバースモデリングによるレガシーコードの蘇生術 (受講無料)

現在のソフト開発では、レガシーコードが複雑化・肥大化して、保守性や拡張性が著しく損なわれてきていることが問題となっています。開発期間の短縮、コスト削減の命題のもと、安易に機能追加や改造を行うと思わぬ障害やトラブル対応に戸惑う。また、ドキュメントもなく、ソースコードだけが頼りで解析できない。所謂、ソースコードのブラックボックス化が進行している。これらの問題を解消すべく、レガシーコードから状態遷移表へのリバースモデリング手法を研究しています。

本セミナーでは、プロセスの原理と検証結果を解説するとともに、今後の活動について紹介いたします。レガシーコードやブラックボックスに悩んでいる方はぜひヒントをつかんでください。

JASA では、日経テクノロジーオンラインのサイトで、「組込み業界では今、何が起きているのか」と題して多彩な執筆陣によるコラムを連載しています。

<http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20150401/412221/>

「状態遷移表によるレガシーコードの蘇生術」は既に公開されており、本セミナーはこのコラムの内容をさらに掘り下げたものとなっています。日経テクノロジーオンラインのコラムも併せてご覧ください。

開催要綱

日時 : 2015 年 7 月 3 日 (金) 14:00~17:00 (開場 13:30)

会場 : 東実年金会館 4 階会議室 / 東京都中央区日本橋浜町 1-8-12

主催 : 一般社団法人 組込みシステム技術協会

受講料 : 無料

プログラム

14:00-14:50 「組込みシステムとモデリング設計概要」

- ・組込みシステムの特性
- ・モデル駆動開発 (MDD) とモデルベース開発 (MBD)

15:00-15:50 「状態遷移設計基礎」

- ・ユースケースシナリオと要求分析 (SEAT 分析)
- ・要求モデリング (状態遷移モデル) ・状態遷移テスト手法

16:00-16:50 「状態遷移表のリバースモデリング適用」 ~レガシーコードの蘇生術~

17:00 質疑応答

講師 竹田 彰彦 氏

JASA 技術本部 状態遷移設計研究会 / キャッツ（株） フォータ外事業本部 シニアエキスパート
プロフィール

パナソニック MSE（株）（現 NTT データ MSE（株））にて、通信系組込みシステムから PHS/
携帯電話のソフトウェア開発に従事。その後は、ツールの導入など開発プロセスの革新
活動、PMO を経て、キャッツ（株）に転籍。ツール導入支援から開発プロセスのコンサル
活動、セミナー講師などを担当。

東京工業大学大学院理工学研究科 通信情報工学 非常勤講師。

一般社団法人 組込みシステム技術協会 状態遷移設計研究会 委員長。

一般社団法人 スキルマネジメント協会 理事を兼務。

【お申込み・お問合せ先】（一社）組込みシステム技術協会 ET セミナー係

Email registration@jasa.or.jp TEL:03-5821-7973